

翔

TOBU

№ 28 31 V, 1982

百万石蝶談会

HYAKUMANGOKU-TYŌDANKAI

—— 門前産クロコムラサキに憂慮を感ず ——

吉村 久實

1981年6月6日(土)、風至郡門前町へクロコムラサキを採集に出かけた。八丁川沿に数箇所のヤナギの群落にて、さがしてみたがついに一頭の稚羽も目撃することができなかった。当日は晴れの暖かな天気、風もほとんどなかった。冬の幼虫の乱獲のせいかなどと思ったりもしたが、数年前に比べて確実に川岸のヤナギの木の数が減ってきているように思う。別にクロコムラサキを撲滅しようと思っただけでヤナギを切るわけではないだろうが、護岸工事のためにヤナギを切って、コンクリートで固めることは、確実にクロコムラサキの生息範囲をせばめている。当日、最後の望みをたたく、門前より洪水に至る道路沿の川岸にはえているヤナギの群落へ行ってみたが、驚くはかれ、一昨年無数の幼虫を確認していたヤナギの木が一本もなくなっていた。クロコムラサキが生息維持を続けるためには、まことに前途多難なことだと思ふ。

—— 津幡町大坪地内にオオヒカゲを目撃す ——

吉村 久實

1981年8月8日、河北郡津幡町大坪の石川カントリークラブのゲートよりやや奥に入った道路沿いのクヌギ林でオオヒカゲを目撃した。当日は網を持っていなかったので採集はできなかった。また、夕方であったせいか、活発に樹間を飛び回っていた。現地ではその他、ミヤマクワガタ、ノコギリクワガタ、コクワガタ、ミヤマカミキリなどが確認された。

—— 知っていますか? —— 作業道湯涌荒屋線 ——

松井 正人

作業道、耳慣れかい言葉ですが、これは林道のようなもので造林

を目的とした所（ほとんどは山）につけられます。道がつくと山の仕事、例えば植林、育林といった作業がやりやすくなるからです。

ですから湯涌荒屋線沿線もスギの植林が盛んです。

しかしまだこの作業道は新しく、そして現在進行形で毎年工事により延びています。その為、湯涌荒屋線沿線は小さなスギの植林地や雑木林で、なかなか採集に向いているようです。この付近一帯にはヒメカンアオイが広範囲に分布し、植林地はギフチョウの絶好の発生地となっています。また雑木林も絶好の採卵地といえましょう。

この作業道は、湯涌荒屋の都路集より始まっていて、今のところ延長は2560m、終点標高は約380mです。

——ドロだらけのサドマイマイ——

金子 ニ久

サドマイマイはその特異な型態と、重厚な色調で、マイマイカブリに関心がある虫やなら、必ず自分の箱に並べてみたい虫である。

上越市のTM氏との文通をキッカケとして、マイマイカブリにのめりこんだ小生が、彼から佐渡へ行かないかとさそいがあった時、二っ返事でのったのは至極当然の事であった。

1981年12月19日朝、直江津では上空は青かったが、カーフェリーで滑いた小舟では、もう厚い雲より雨が降っていた。車はワイパーを忙しく動かしながら走り出した。タバ、トベラ等常緑厚葉樹が多く、三浦三崎を思い出した。ドロだらけの道にそれ、ゴム長をはいて、崖をくずれ出す。出ない。クロオサー頭のみが、腕が痛くなった頃出て来ただけ。場所をかえる。雨は、ますます激しくなる。何回目かに降りて、歩いていると目の前に高さ皿米位の太い朽木が、ヌッと立っていた。彼が、これはキツ尾ると云う。二人で両側から皮をはぎだす。出ない。と、彼が、イタノと叫べば、駆け寄るとボロボロの木くずの中、青黒い虫がうごめいている。

それから、雨さんが忘れた。彼が小生のピッケルで、カー杯樹幹をたたいたので、シャフトが折れたのも、イイヨ、イイヨとすました。十数分後、毒瓶の底でうごめいている数匹の虫ケラを、大粒の雨の中、薄暗くなった林の中で、二人はしばらく見ていた。

——私のアルバムより——

雑道 秀人

1981年のシーズンも終了し、現在手持ちの蝶類の写真を整理したら次の様になった。なお記載地のないものは、金沢市近郊及び石川

県産である。他は次による。

Ni: 新潟県 Na: 長野県
F: 福島県 Y: 山形県

T: 富山県
H: 北海道

S: 滋賀県
O: 静岡県 HY: 兵庫県

アゲハチョウ科

- | | | | |
|-------------|----------------------------|---------------|-------------------|
| 1. ギフチョウ | Ni: 糸島(卵)・弥生(幼虫)
胎内(成虫) | 7. オナガアゲハ | (成虫) |
| 2. ユスバシロチョウ | (幼虫・成虫) | 8. クロアゲハ | (成虫) |
| 3. ショウアゲハ | (成虫) | 9. シロオビアゲハ | O: (幼虫・成虫) 飼育 |
| 4. キアゲハ | Ni: 内野(幼虫)・(成虫・幼虫) | 10. カラスアゲハ | (成虫) |
| 5. モンキアゲハ | (成虫) | 11. ミヤマカラスアゲハ | T: 有峰(成虫)・(幼虫・成虫) |
| 6. ナガサキアゲハ | S: 大津市(成虫♀) | | |

シロチョウ科

- | | | | |
|--------------|----------------------|------------|---------|
| 12. モンシロチョウ | Ni: 新関(成虫)・T: 有峰(成虫) | 14. キチョウ | (幼虫・成虫) |
| 13. スジグロシチョウ | (成虫) | 15. モンキチョウ | (成虫) |

テングチョウ科

- | | |
|------------|-----------|
| 16. テングチョウ | T: 有峰(成虫) |
|------------|-----------|

マダラチョウ科

- | | |
|------------|-----------------|
| 17. アサギマダラ | S: 大津市(成虫)・(成虫) |
|------------|-----------------|

タテハチョウ科

- | | | | |
|----------------|------------------------------------|---------------|-------------------------------------|
| 18. サカサチョウ | (幼虫・成虫) Ni: 妙高関
温泉(成虫)・湯沢大峰山(成) | 28. ミドリヒョウモン | Y: あま湯泉(幼)・F: 尾登(成)
Ni: 湯沢大峰山(成) |
| 19. アカタテハ | (幼虫・成虫) | 29. ヌスグロヒョウモン | S: 信楽町(成) |
| 20. ヒメアカタテハ | F: 尾登(成) Ni: 大峰山(成) | 30. ヲラギヒョウモン | (成虫) T: 有峰(成) |
| 21. クジャクチョウ | H: 根室(成) F: 尾登(成)
Na: 白根大池(成) | 31. スミナガシ | F: 尾登(成) |
| 22. ヨリダテハ | (成虫) | 32. イチモンジチョウ | (幼虫・成虫) |
| 23. シンダテハ | H: 根室(成) Na: 小谷村(成) | 33. アサマイチモンジ | (成虫) Ni: 胎内(幼) |
| 24. ヒトシチョウ | (成虫) Ni: 新関(成) | 34. ホシミスジ | Ni: 新関(成)・(幼虫・成虫) |
| 25. コヒメチョウ | T: 有峰(成) | 35. フタスジチョウ | Ni: 兄見(成)……飼育 |
| 26. ヲラギンシヒョウモン | (成虫)・T: 有峰(成) | 36. オキミスジ | F: 尾登(成) |
| 27. オキミスジヒョウモン | (成虫)・S: 大津(成) | 37. ミスジチョウ | (成虫) |
| | F: 尾登(成)・Ni: 湯沢大峰山(成) | 38. コミスジ | (成虫)・F: 尾登(成) |
| | | 39. オキムラサキ | (幼虫・成虫) |
| | | 40. マダラチョウ | (成虫) |

41. ヲムサキ T:有峰(成)・(幼虫・成虫)

ジャノメチョウ科

- | | |
|--|---------------------------|
| 42. ハニヒカゲ (成虫)……飼育 | 46. オオハニヒカゲ (成虫) |
| 43. ヒメウラハシヤノメ (成虫)・Ni:妙高池平(成)
F:尾登(成) | 47. クロヒカゲ (成虫) |
| 44. ヒメジャノメ (成虫)・F:尾登(成) | 48. ヒカゲチョウ (成虫) |
| 45. コジャノメ (成虫) | 49. ヒメキマダシカゲ (成虫) |
| | 50. ヤキマダシカゲ (成虫)・Ni:胎内(成) |

シジミチョウ科

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------------|
| 51. ハニシジミ (成虫)・Ni:麻屋(成) | 66. シジミドリシジミ (卵・幼虫・成虫) |
| 52. ヲムサキシジミ S:大津市(成) | 67. ハヤシシジミ Na:親原(成) |
| 53. シジミハヤシジミ Y:小国(卵・幼・成) | 68. ミドリシジミ S:大津市(卵)・Ni:妙高池平(幼)・(成虫) |
| 54. ウラキンシジミ (卵・幼虫・成虫) | 69. ヌスアリシジミ (卵・幼虫・成虫) |
| 55. ウラゴマダシジミ (卵・幼虫・成虫) | 70. アシシジミ (卵・幼虫・成虫) |
| 56. オナシジミ (卵・成虫) | 71. ヒサマシジミ (卵・幼虫・成虫) |
| 57. ヌスハナシジミ HY:久崎(卵・成) | 72. ルシジミ (成虫)・Ni:湯沢大峰山(成) |
| 58. ミスハナシジミ (卵・成虫) | 73. グヤシジミ Na:八尾根黒坂平(成) |
| 59. ダシシジミ (卵・幼虫・成虫) | 74. ヒメシジミ T:有峰(成)・Ni:湯沢大峰山(成) |
| 60. アカシジミ (卵) | 75. ミヤマシジミ T:常盤川(成) |
| 61. ヲムサキシジミ Ni:新関(成) | 76. アサマシジミ (幼虫・成虫) |
| 62. フジシジミ (卵) | |
| 63. ヲムサキシジミ HY:久崎(卵)・Na:親原(成) | |
| 64. オオシジミ (幼虫・成虫) | |
| 65. イナシジミ (幼虫・成虫) | |

ウラギンシジミチョウ科

77. ウラギンシジミチョウ S:大津市(成)

セセリチョウ科

- | | |
|---------------------------|--|
| 78. アキバセセリ (成虫) | 85. コキアセセリ T:有峰(成)・Ni:湯沢大峰山(成) |
| 79. ミヤマセセリ (幼虫・蛹) | 妙高関温泉(幼) |
| 80. ダイオウセセリ (幼虫)・Ni:麻屋(成) | 86. オキアセセリ (成虫)・Ni:弥彦(幼) |
| 81. ジャバセセリ (成虫)・Y:おみ温泉(成) | 87. イモセセリ (成虫)・T:有峰(成)・Ni:湯沢大峰山(成)・F:尾登(成) |
| 82. キアセセリ (成虫)・S:大津市(成) | 88. ハリグロセセリ Ni:湯沢大峰山(成) |
| 83. スズメセセリ T:有峰(成) | |
| 84. ヒメキアセセリ S:大津市(成) | |

南アルプス山麓でオオムラサキの群飛

者村 久貴

南アルプス側には道路の両側の麓に沿って、クヌギやエノキが立ち並んでいて、オオムラサキはクヌギの樹冠層を飛び回ったり、葉の上に休止したりして、占有行動をとっていても、一度に5〜6頭の追尾行動をするのを見られる。道沿いに連続的に発生している無数の個体を見ることができ、先づ、奥谷村や谷のバス終点があり、南アルプスへの登山口にもなっており、松井正人氏の話では、過去にミヤマシロチョウも見られたようである。

奥オムラサキの大発生地とオオムラサキの山麓において、オオムラサキの反対の山麓において、伊那市より高遠を越えて、小黒川沿いに逆行した南アルプススーパー林道の入口付近である。現地には道路の両側の麓に沿って、クヌギやエノキが立ち並んでいて、オオムラサキはクヌギの樹冠層を飛び回ったり、葉の上に休止したりして、占有行動をとっていても、一度に5〜6頭の追尾行動をするのを見られる。道沿いに連続的に発生している無数の個体を見ることができ、先づ、奥谷村や谷のバス終点があり、南アルプスへの登山口にもなっており、松井正人氏の話では、過去にミヤマシロチョウも見られたようである。

採集データ オオムラサキ 12381号, 1981.7.26

採集データ オオラサキ 12♂♂1♀. 1981. 7. 26

同行の吉岡氏も、10頭以上採集したが、時期がやや遅く破損したものがあった。

その他、現地で目撃又は採集したもの。

シータデハ・クダヤクチョウ・オオミスジ・ミヤマカチスアゲハ・オナガアゲハ
アオオナガソ・トリボシカキナリ など

TOBU TOBU TOBU TOBU TOBU TOBU TOBU TOBU TOBU TOBU TONDA HIMANA KOTO SHITERUNA

＝住所変更のお知らせ＝

松井正人氏 金沢市三日新聞 4-9-33

↑ 前付 34.

ヒロコさん、はじめての投稿です。何をどんなふうに書いたらいいかわからないのだけれども。3月21日、嵯峨井氏・松井氏・野中氏・金子氏・吉岡氏にくっついて鮎川の方まで——初めての採卵を体験したのでその時のことを書けばいい……

松井さんの木登りにはびっくりです。あんなに高くまで登るとは……それにしてもミズナラの木がかわいそう。山の持ち主が見たらどんな顔をされるのでしようね。でも卵のためならそんなこと言ってもらえない。おいしそうなお木の芽にプツッとした卵を見つけた時はうれしかったよ……。といっても自分で見つけたのはたったの2卵だけ、あとは全部嵯峨井さん。その他の方々に見つけていただいたものなんだけれども……

結局、持ち帰った卵は、ダイノミドリ10卵、ジョウザンミドリ7卵、オオミドリ3卵、ミズイロオナガ3卵でした。早く生まれませんか？と楽しみにしていますが、果たして、うまく育ってくれるでしょうか、心配なのですけど、がんばってみようと思ってるのです。

★ヒロコのYODAN★

ムシヤの夫

この日は帰りに野中さんのお宅へお邪魔したのですが、その時、嵯峨井さんと野中さんの息子さんとのちょっとした会話(?)——大きく育ったらパパとムシヤとりに行くの？ママがだめって言うかな——などなど、からりと聞いたこと……
 だいたい私なんぞは変態的女性の都度に入らなくて、普通世の中の女性は“虫”などというのには、大キライで、ケムシ！キヤーキモチワルイ などとさわぎ立てるらしくて、まあ、ムシヤの夫を捕まえてはかわいそうだけれどすよね。嵯峨井さんのお宅でも奥様が旦那様へ持ちこたうらしいイモ虫を見て、キモチワルイからあっちへやってのなんてキーキー声をあげているのが目に浮かぶようなんですよ——（もういいかげん慣れたというか、あきらめただけでしょうが……）

こんなパターンはよくあるみたいで、だいたい想像できるのですが——私の場合、その逆なわけでケムシをかわいいなどという女性を妻にもつ夫は、いったいどんな態度を示すことでしょうか……

そしてそんな、かわいそう(?)な男性は、いったい今どこにいて何をしてるのでしょうかねえ……？

—御報告—

今日の NO.21「長かった会員の動き・しゃばの動き」に八木橋さんのことが書かれていて、行方知れずとありますが、彼は東京（八王子）にいらんじやないかと思います。

昨年の三月頃、彼は私にクジャクチョウをあげるからって低をくださいまして、私は金沢工大の近くまでもらいに行ったのです。そんなわけで彼とはお友達だっただけでもないけど、少レ親しくなっちゃったわけで、その後、4月終りころに彼から八木橋が届きました。それによると、金沢の方がいい、金沢へ帰りたいたのことでした。また、八王子から少レ行った所の公園で、290種ぐらいの蝶が飼育されてるらしいです。東京へ来たら八王子へもよって下さいとのことでした。

その後、連絡はないので、はっきりしたことは、わかりませんが変わってなければ住所は、

〒193 東京都八王子市長寿町 421-7

第2丁目 11号室

です。

会員の皆さん、お手紙でも出してあげましょう。

★ヒロコの YODAN ★

—〈採集地案内・1〉 平湯温泉のオオゴマンジミ—

嵯峨井海樹

岐阜県古川郡上宝村平湯温泉は、古くから甲虫類（特にカミキリ）の記録の多い有名な採集地である。

ご多分にわかれ、筆者も足しげくこの地へ小型のトラカミキリの類を採りによく通った。（朝駆けすれば日帰り十分可能）

カミキリの有名地とはいえ、ここは蝶類にもけっこうおもしろいものを産し、オオゴマンジミをはじめとしてメスアサカ、エゾ、アイノ、ジョウザン等の各種ゼフ、コヒョウモン、コヒョウモンモドキ、ギンボンヒョウモン等のヒョウモン類、ツマジロウラ、ヒメキマダラヒカゲ、クジャクチョウ、ギフチョウ、ウスバシロ、ミスジチョウ、オオミスジ、ギンイチモンジ、ヒメシジミなどを産するようである。

オオゴマンジミは、平湯温泉内の三叉路を上高地・宇房峠に向って折れ、1~200mの地点を山側（右）に向って小道を入っていく。

小道には温泉への湯のパイプが数本走っているのですぐわかる。

しばらく進むとススキを主体とした草原へ出、それを更に進入すると、クマザサに出る。そこをナタなどで切り倒しながら、更に奥

へ進むと、一面クロバナヒキオコシが繁生している斜面へ出る。定場を作って徘徊、好天（ある程度日が照れば）ならば10~20頭は長い。



時期は、7月下旬~8月上旬で背丈以上のススキ・クマガサ等を分け入るため、体中がものすごく痒くなる。ダニに喰いつかれることもある。問題はこの足が向きにくい草原を越えるか越えないかにかかり、筆者がここを見つけた2年後、再びここを訪れた時2ヘタ人のオオゴマシミ採集人に出逢い、成果を問うたところ、2ヘタ頭がせいぜいで……ということでは今年あまり期待できないなと思いつつ草原の奥へ分け入ったところ、誰の足跡もなく、オオゴマも26頭ネットレウハウハ喜んだことがあった。

えてしてそんなもので、欲しいものをどうしても手の中にしたい時は少々無理をしないといけないをかなえさせてくれないものである。

この他、初夏にはクモツマキチヨウが見られ、N.N氏や富山の某氏（いづれも未発表か？）あたりがここでネットしている。川原でクモツキの卵採集をした郷人もいることをつけ加えておかねばならない。平場産のクモツキは——欲しいなあ——。

昔、ヒメグフ4ヨウがいたという古い記録もあるよ。

《例会の記録》

◆ 82-3-24(木) 本年11回目の例会を新潟県立図書館にて開催。出席者、オガサ・野中・柴下・志岡の4氏。採集人は病い（い）年をして風疹とは）に倒れ、モモンとしてあった。どんな講義員が来たか覚えていない。

◆ 82-5-26(木) 新潟県立図書館にて開催。出席者は、柴下・金子・金平・横山・竹谷・野中・松井・志村そして川原・近藤・高平・中田夫妻の集まり、計13名。夕々にぎわい、話題はつきなかった。

< ニューフェイス紹介 > - 受付順 -

1. 小幡 英典氏 金沢市久安 5-388 TEL 42-0356
勤務先・金沢舞台(株) TEL 91-1418

今春、渥・平栗あたりをカメラを積んで走行中の氏を見つけ入会をお願いした。竹谷氏や諸道氏のように標本には全く懸念せず、自然界での撮影のみに情熱を集中している様子。

取業柄、日頃は多忙を極め連絡は、取場の方へとのこと。竹谷氏とは、一度某放送局で逢っているとか話されていた。年令〇〇才。独身。石川おしの会パーパー会員。

2. 近藤征四郎氏 金沢市二日町 15 TEL 21-5775
勤務先・金沢大学薬学部

吉村氏より晴々ウリサを聞いていた人物。金沢市内兼六公園のアカガシにてキリシマミドリを数頭目撃されたという話(45年前)には、懇談会内は騒然とし、今年の課題の一つになりそう。石川県初記録(1970年)のムモンダカンジミを手中にレた重要人物。情報を得られる足音木智共には、有がたい人。大学では主に、カンダオイ類の研究に熱心。一度会内の興味のある人達で見学させてもらいたいもの。植物に強い方の入会で、会員一同ありがたく利用させていただこう。

年令〇〇才。昭和10年代生れと想像するが、……?

3. 高平 正明氏 河北郡宇奈月町内日角182 TEL 07628-3-0165
建設会社 経営

竹谷氏を経由して入会申し込みがあった。息子さんの昆虫採集につきあっているうちに皆の病気(?)がおきたとか。

取業柄、なかなか暇がないながらも、某竹へ車を走らせて、採りたいものを採ってくるあたりは、相当の根性のもち主とみた。昨81年、宝達山でウスバンロチョウを数頭目撃したとか。今後、口能登方面における種々のデータは氏にまかすことにしよう。

4. 中西 重雄氏 金沢市水島町 9-49 TEL 47-5535
中西 朱美氏 自営業・経営

やはり、竹谷氏を経由して入会申し込みがあった。休日には

御夫婦で金沢周辺の採集地を踏査している御様多。とにかく、編集人のような専断者は、常日頃家を空けることが多いために田舎に首がはえることが多いが、夫婦揃って採集ができれば、夫婦円満この上なし。氏が経営する工事会社の事務所にはところ狭しと標本類がかけられていると聞く。年令知らない。子供3人あり。女性会員1人増えたことで、若下会員あたりは、心強いのではないかと？

＜原稿を募る——編集人より＞

「掲載用の原稿を常時募集しています。内容についてはどんなものでもかまいません。蝶・蛾・カミキリ・オサムシ・その他甲虫類何でもけっこう。特に石川・富山・福井県産のものについての原稿を大歓迎します。石川県に関するものでは能登方面のものを歓迎します。と、はつきり書いたら他県のもので著さぶらいでしょうからやっぱり何でもけっこう。編集人は待っています。」

目 次

門前産クロコムラサキに憂慮を感じず	吉村久貴	1
津幡断大坪地内にてオオヒカゲを目撃す	吉村久貴	1
知っていますか？ —作業道湯涌荒屋線—	松井正人	1
ドロだらけのサドマイマイ	金子ニ久	2
私のアルバムより	諸道秀人	2
南アルプス山麓でオオムラサキの群飛	吉村久貴	5
初めての採卵体験	若下泰子	6
ヒロコのYODAN —ムシヤの夫—	若下泰子	6
採集地案内① 平湯温泉のオオゴマシジミ	嶋井海郡	7
例会の記録		8
ニューフェイス紹介		9

第 28 号

1982年5月31日(月)発行

発行：金沢市三口新町4-9-33・松井正人方

百万石蝶談会

編集・校正：

嶋井海郡